

令和8年度 年間授業計画

教 科：数学 科 目：理系数学ⅠA 単位数：2

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	—
	補助教材：	ベーシックスタイル 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕 受験編（数研出版）

教科（ 数学 ）の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目（ 理系数学ⅠA ）の目標

【知識及び技能】	いろいろな式、図形と方程式、各種関数、場合の数と確率、数列の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と社会生活との関わりについて認識を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
単元	二次関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
二次関数の最大値や最小値を求められるようにする。二次方程式を解くことができるようにする。		二次関数とグラフ、二次関数の値の変化	二次関数の最大値や最小値を求めることができる。二次方程式を解くことができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
二次関数の値の変化について、グラフと関連付けて考察できるようにする。二次関数の値の変化・グラフと関連付けて二次方程式・二次不等式について考察する。		問題集、教科作成課題	二次関数の値の変化について、グラフと関連付けて考えることができる。二次関数の値の変化・グラフと関連付けて二次方程式・二次不等式について考察することができる。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
関数の値の変化についてグラフを根拠に発論しを立てる態度を育てる。二次方程式の解の判別式などの事項を問題解決に活用する姿勢を育てる。		学習・復習課題の記述・提出	関数の値の変化についてグラフを根拠に発論しを立てようとしている。二次方程式の解の判別式などの事項を問題解決に活用しようとする態度がある。				
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
0	0	0					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
0	0	0					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
0	0	0					
定期考査（中間考査）/返却と解説				○	○	○	2
単元	図形と計量	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
鋭角の三角比と相互関係について理解し、鋭角の三角比の値を求めることができるようにする。正弦定理や余弦定理について理解し、これを用いて三角形の辺の長さなどを求められるようにする。		三角比、三角形への応用	鋭角の三角比と相互関係について理解し、鋭角の三角比の値を求めることができる。正弦定理や余弦定理について理解し、これを用いて三角形の辺の長さなどを求めることができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現する。事象を数学的に捉え、三角比を用いて課題を解決することができるようにする。		問題集、教科作成課題	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現することができる。事象を数学的に捉え、三角比を用いて課題を解決することができる。	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
三角比を用いて表現したものをもとに、定理や公式を導く。平面・空間図形の辺や角度について三角比を利用して求めようとする姿勢を育てる。		学習・復習課題の記述・提出	三角比を用いて表現したものをもとに、定理や公式を導こうとしている。平面・空間図形の辺や角度について三角比を利用して求めようとする姿勢がある。				
単元	場合の数と確率	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められるようにする。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めるようにする。		事象と確率、確率の基本的性質、独立な試行と確率、条件付き確率	具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察する。		問題集、教科作成課題	事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
場合の数や確率の考え方のよさを認識し活用しようとする態度。粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度。問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度を育てる。		学習・復習課題の記述・提出	場合の数や確率の考え方のよさを認識し活用しようとする態度。粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度。問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度がある。				
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2

令和8年度 年間授業計画 科目（ 理数数学ⅠA ）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
単元	図形と方程式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能	知識・技能				
目標平面の直線や円を方程式で表すことができるようにする。不等式の表す領域を求めたり、領域を不等式で表すことができるようにする。	点と直線、円	目標平面の直線や円を方程式で表すことができる。不等式の表す領域を求めたり、領域を不等式で表すことができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
目標平面上の図形を方程式で表し、図形の性質や位置関係について考察することができる。	問題集、教科作成課題	目標平面上の図形について、方程式を用いて表し、図形の性質や位置関係について考察することができる。		○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
目標平面上の図形を方程式で表すことよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度を育てる。	学習・復習課題の配付・提出	目標平面上の図形を方程式で表すことよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度がある。					
単元	三角関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能	知識・技能				
三角関数の値の変化やグラフの特徴、相互関係の性質、加法定理や合成などについて理解する。	三角関数、加法定理	三角関数の値の変化やグラフの特徴、相互関係の性質、加法定理や合成などについて理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
三角関数に関する様々な性質について考察し、加法定理から新たな性質を導く。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察する。	問題集、教科作成課題	三角関数に関する様々な性質について考察し、加法定理から新たな性質を導くことができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。		○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
三角関数のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度を育てる。	学習・復習課題の配付・提出	三角関数のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度がある。					
定期考査（中間考査）/返却と解説				○	○	○	2
単元	微分と積分	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能	知識・技能				
微分係数や導関数の意味について理解し、それらを用いて関数の値の増減や極大・極小を調べグラフの概形を描くことができるようにする。不定積分や定積分の意味について理解し定積分の値を求められるようにする。	関数の値の変化、積分法	微分係数や導関数の意味について理解し、それらを用いて関数の値の増減や極大・極小を調べグラフの概形を描くことができる。不定積分や定積分の意味について理解し定積分の値を求められることができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
関数の局所的な変化に着目し、その値の変化や関数の特徴について考察する。微分と積分の関係に着目し、積分の考えをも引いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求め方法について考察する。	問題集、教科作成課題	関数の局所的な変化に着目し、その値の変化や関数の特徴について考察することができる。微分と積分の関係に着目し、積分の考えをも引いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求め方法について考察することができる。		○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
微分法と積分法のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度を育てる。	学習・復習課題の配付・提出	微分法と積分法のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度がある。					
単元	数列	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能	知識・技能				
いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解する。漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求められるようにする。	等差数列と等比数列、いろいろな数列、漸化式	いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
事象から规律的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。	問題集、教科作成課題	事象から规律的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。		○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
数列のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度を育てる。	学習・復習課題の配付・提出	数列のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする態度がある。					
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2

2
学
期

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
単元	総合演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
既習済みの学習事項について理解し、問題に合わせて活用することができるようにする。	複合問題、大学入試問題	既習済みの学習事項について理解し、問題に合わせて活用することができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
与えられた問題について多面的に考察し、その解法について共通しを立て取り組むことができるようにする。	問題集、教科作成課題	与えられた問題について多面的に考察し、その解法について共通しを立て取り組むことができる。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	学習・復習課題の配信・提出	粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度がある。					
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
0	0	0					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
0	0	0					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
0	0	0					
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
0	0	0					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
0	0	0					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
0	0	0					
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
0	0	0					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
0	0	0					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
0	0	0					
定期考査（期末考査）/返却と解説							
							合計
							70